

ロータスルート

さあ、つながって行こう!! みんなで花を咲かせよう!!

Report

<http://www.myohokkein.jp/>

2021年(令和3年)1月1日発行
「ろおたす」からの〜通算411号

Vol.30

日蓮宗

正中山別院
護国山妙法華院

〒652-0816 神戸市兵庫区永沢町4-5-8
TEL(078)575-2608 FAX(078)577-7651
kobe@myohokkein.jp



おきらく日記

水路はプール

2020年10月31日(土)

母校の消防訓練に立ち会った。
「火点は兵庫中学体育館! ヨシ!放水始め!」
1年生は小さい身体で一生懸命に筒先を握り水圧に耐える。お天気が良かったので、消火水で虹が出来る。「私も兵中出身で皆さんの先輩です。」と挨拶したら、先生から声をかけられた。どうもウチの息子達を知っているらしい。「おお! そうなんですか〜」改めて地域に根付く活動の大切さと楽しみを味わいました。(^_^)

彼車をば法華経譬喩品と申に
懇に説せ給て候

日蓮沙門 妙久院日修

新年明けましておめでとうございます。二〇二一年令和三年辛丑を迎えました。本年は日蓮聖人の御降誕八〇〇年です。正月号なので、明るく元気を届けたいと思ってお目出度いイラストを描いてもらいました。しかしながら今、世の中はコロナが感染拡大し経済に大きな打撃を与え、東京五輪を含めて今年も先行き不透明な状況です。経文や日蓮聖人の教えからこのコロナウィルスの問題については「全て私達の心のあり方に起因している」と寺報28号で伝えました。そして「命は今生のものでだけではない」と、犬の死を通して、寺報29号で皆さんに訴えました。この二点は、お釈迦様が私達に残された究極の真理です。法華経という教えは、大きな白い牛が引く乗り物に譬えられます。この乗り物は、金や銀等の七宝で美しく飾られています。その宝は：
①仏の教えを聞いて
②信じ持ち
③戒律を守って
④心を正しく定め
⑤修行に励み
⑥執着を捨て
⑦常に反省し行動に移すこと
という7つの信仰規範を示しています。物質的な宝が大切なのではなく、大白牛車という法華経を信仰し、生きていく事が一番大切な事であると伝えていくのです。過去・現在・未来の三世に渡って、自由に飛び交う事のできる乗り物が大白牛車です。
私達は、このような不安な社会情勢の今だからこそ南無妙法蓮華経と、信仰を基本にする生活様式に変わらなければならないのです。
法性の空に自在にとびゆく車こそ、大白牛車とは申され。
我より後に来り給はん人々は、此車にめされて霊山へ御出有へく候。
日蓮も同じ車に乗て
御迎にまかり向ふべく候。
南無妙法蓮華経 南無妙法蓮華経。日蓮
『大白牛車御消息』



二重火宅の喩え

丑年と言えば
ダツタは
こんなお話を
知ってる？

なにになに？



昔、ある所にたいへんお金持ちの
長者がいました。年は八十近くで、
数えきれないほどの財産を蓄え、
たくさんの子供を持ち、
大勢の使用人をかかえていました。
しかし、その家は古く、壁は落ち、
柱の根は腐り、建物は傾いて
危険な状態になっていました。

そんなある日、その家の一角から
火事が起こり、火はたちまち燃え
広がってしまいました。

長者はすぐに火事に気付き、
難なく門から逃れることができた
のですが、子供たちは遊びに夢中にな
り、火が迫っていることにも
気づかず、いっこうに火宅から
出ようとしません。しかも、不便な
ことにこの家には狭い門が一つしか
ありませんでした。長者は

「早く家から出なさい」と子供たち
に告げますが、子供たちは長者の
言うことを信じず、火を怖れる
ことなく遊び続けました。

長者はそんな恐怖の中、
このように思いました。「この家は
もうすぐ大火に焼かれようとし
ている。私や子供たちも、
適当な時に逃なければ、必ず
焼かれてしまう。私は今、方便を
用いて、子供たちをこの災難
から逃れさせてやろう」

そこで父である長者は、子供たち
が各々ほしがっていた種々の珍しい
玩具ならば、心を惹かれて
火宅から出てくるだろうと思い、
「お前たちが好む玩具は稀にしか
なく、手に入れるのが難しいものだ。
もし今、お前たちが受け取らな

踊躍歡喜 即起合掌

さて私は去年から信行会で法華経以外のお
経の話をしています。仏教の設立のお話から
始めて小乗仏教と大乘仏教の違い。そして
『華嚴経』『阿彌陀經』『維摩經』の解説をさせて
頂きました。正直に暴露すると、今までは法華経
以外の方便の教えについては、あまり勉強した
事がなかったで、今は新しい発見があって
非常に楽しく勉強させて頂いております。

正直捨方便 但説無上道

お釈迦様は、お悟りを開かれてから入寂され
るまで五十年という歳月をかけて教えを弘め
られます。しかし他宗派の抛り所になっている
最初の四十年間は、お弟子や人々の質問に答える
形で話しをされるのです。ですから相手に
合わせて法が説かれていきます。お釈迦様は人に
よつては真逆の言い方をされる場合があるの
です。「口ナになった人に風邪薬を飲ませて
もダメです！インフルエンザにかかっている人
にPCR検査は意味をなさないと同じ。
ところが、お釈迦様が晩年に説かれた法華経は、
どの人にも通じる「真実の教えです」と語り出
されるのです。

法華経の二番目は方便品。「嘘も方便」とい
うことわざは「ものごとがスムーズに運ぶため
には嘘が必要なものもある」といった意味で使わ
れていますが、しかしここで、お釈迦様が嘘
をついているという事では無く、「真実に導くた
めの巧みな手段」という意味なのです。

尚於此經 以信得入

しかしその真実の教えとは、智慧第一と言
われたお弟子の舍利弗尊者でも理解する事が
「難解難入」だったのです。その教えは「全ての
存在は平等の上に成立し、皆が仏になれる」とい
う諸法実相の教えでした。お釈迦様は三番目の
譬喩品で上記の三重火宅のお話を披露され、
今までの羊・鹿・牛の方便の教えを捨てて、皆が
仏になれる「一仏乗」という大白牛車の法華経を
語られます。「この世界は全て仏さまのもので
あり、全て仏さまの子である、そして全ての
人々は仏となる事ができる」という絶対平等の
真理です。このことは理屈では無く、信じるこ
とのみでしか入る事が出来ないと舍利弗尊者は
領解したのでした。

為度衆生故 方便現涅槃

十六番目の壽量品では、お釈迦様は皆のため
に方便で涅槃に入ると言われるのです。しかし
「実は滅度してないよ」とお釈迦様は久遠の仏
さまという存在となり、いつも私達に救いの手
を差し伸べています。しかし私達、凡夫の心は
転倒しているのだから、信じていないのです。
「ほら？その事も信じ難いでしょう？」だから
法華経は、仏と仏の境地にならないと理解出来
ないのです。信じる者のみが救われるのです。
「でも私結構信じているのに悪い事ばかり
起きますよ」という方がおられます。日蓮聖人
のお言葉に、その答えを見いだしましょう。

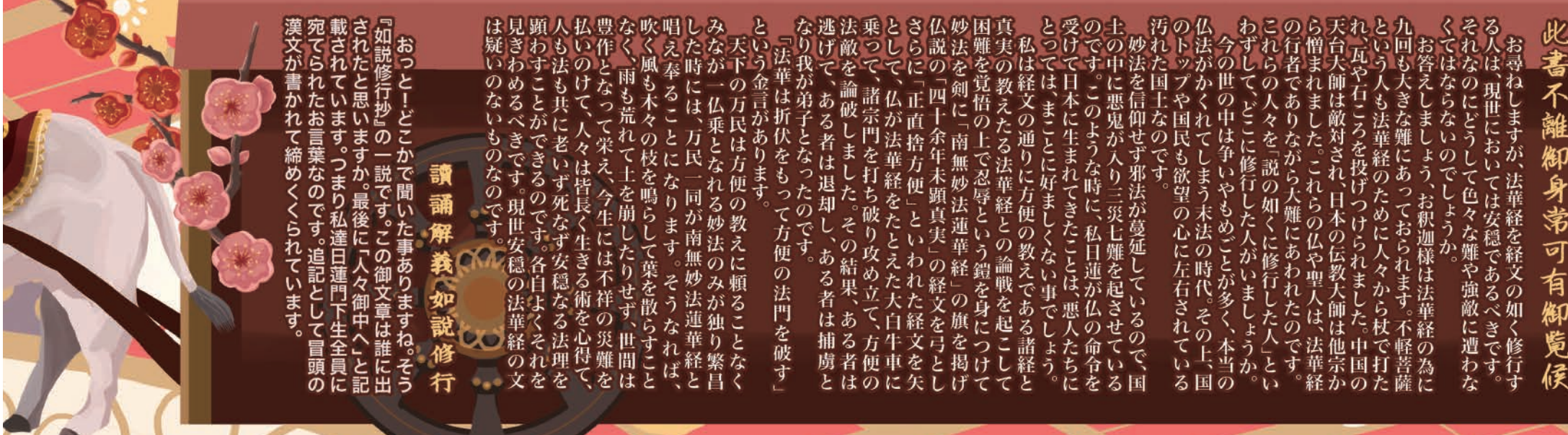
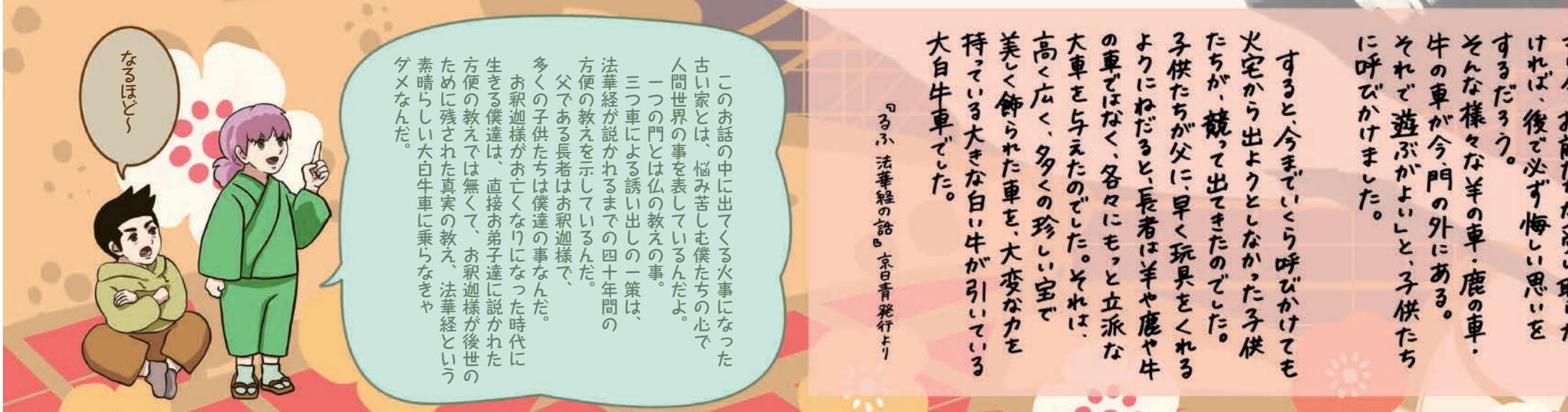
建設志納者 (二〇二〇年九月～ 二〇二〇年十一月)	
十一月	秋定 元次
池田 鈴子	一〇、〇〇〇円
大橋 ヒデ子	二〇、〇〇〇円
鎌田 秀美	一〇、〇〇〇円
佐分利 孝	一〇、〇〇〇円
新間 智孝	二〇、〇〇〇円
小村 卓二	二〇、〇〇〇円
酒井 博光	二〇、〇〇〇円
志水 克行	二〇、〇〇〇円
吉田 和美子	一〇、〇〇〇円
中尾 嘉幸子	一〇、〇〇〇円
永尾 昌久	一〇、〇〇〇円
中村 明博	三〇、〇〇〇円
山崎 雅祥	一〇、〇〇〇円
合計	三六九、〇〇〇円

自我偈写経 満座供養者	
大松 純子	一、〇〇〇円
岡野 洋子	一、〇〇〇円
紙野 陽子	四、〇〇〇円
新間 陽子	一、〇〇〇円
山内 悦子	一、〇〇〇円
合計	八、〇〇〇円

御宝前・お供え	
秋山 榮	一〇、〇〇〇円
鎌田 秀美	三〇、〇〇〇円
小松原健司	一〇、〇〇〇円
近藤 智子	二〇、〇〇〇円
後藤 秀幸	一〇、〇〇〇円
永尾 嘉幸	二〇、〇〇〇円
十月	
相内 二三	二〇、〇〇〇円
相田 幸夫	二〇、〇〇〇円
小松原健司	二〇、〇〇〇円
佛龍 紋	一〇、〇〇〇円
合計	一〇、〇〇〇円



寺債金会計9～11月		建設志納金会計 9～11月	
2020年9月1日～ 2020年11月30日		2020年9月1日～2020年11月30日	
収入(円)		収入(円)	
寺債金	0	志納金	691,000
受取利息	0	現金	2,499,000
収入小計	0	振込手数料	0
8月繰越金	4,411,333	郵便振込	128,803
合計	4,411,333	利息	
支出(円)		信託志納金	寿量C 0
志納金へ	0	題目C	0
返還金	500,000	自我偈写経	8,000
振込手数料	0	収益事業より	3,000,000
支出小計	500,000	義持会より	0
12月繰越金	3,911,333	収入小計	3,699,000
合計	4,411,333	8月繰越金	1,876,830
翌月繰越金内訳		合計	5,575,830
現金	0円	現金	0円
りそな普通預金	3,911,333円	りそな普通預金	2,948,027円
郵便振込金	0円	郵便振込金	0円
合計	3,911,333円	合計	2,948,027円



此書不離御身常可有御覧候

お尋ねしますが、法華経を經文の如く修行する人は、現世においては安穩であるべきです。それなのにどうして色々な難や強敵に遭わなくてはならないのでしょうか。

お答えしましょう。お釈迦様は法華経の為に九回も大きな難にあつておられます。不輕菩薩という人も法華経のために人々から杖で打たれ、瓦や石ころを投げつけられました。中国の天台大師は敵対され、日本の伝教大師は他宗から憎まれました。これらの仏や聖人は、法華経の行者でありながら大難にあわれたのです。これらの人々を「説の如くに修行した人」といわずして、どこに修行した人がいましょうか。今の世の中は争いもめもめが多く、本當の仏法がかくれてしまう末法の時代。その上、国のトップや国民も欲望の心に左右されている汚れた国土なのです。

妙法を信仰せず邪法が蔓延しているのが、国土の中に悪鬼が入り三災七難を起させているのです。このような時に、私日蓮が仏の命令を受けて日本に生まれてきたことは、悪人たちにとっては、まことに好ましくない事でしょう。

私は經文の通りに方便の教えである諸經と眞實の教文たる法華経との論戦を起して、妙法を覺悟の上で忍辱という鎧を身につけて、妙法を剣に「南無妙法蓮華経」の旗を掲げ、仏説の「四十余年末眞實」の經文を弓とし、さらに「正直捨方便」といわれた經文を矢として、仏が法華経をたとえた大白牛車に乗つて、諸宗門を打ち破り攻め立て、方便の法敵を論破しました。その結果、ある者は逃げ、ある者は退却し、ある者は捕虜となり我が弟子となったのです。

「法華は折伏をもって方便の法門を破す」という金言があります。

天下の万民は方便の教えに頼ることなく、みなが一仏乗となる妙法のみが独り繁昌した時には、万民一同が南無妙法蓮華経と唱え奉ることになります。そうなれば、吹く風も木々の枝を鳴らして葉を散らすことなく、雨も荒れて土を崩したりせず、世間は豊作となつて榮え、今生には不祥の災難を払いのけて、人々は皆長く生きる術を心得て、人も法も共に老いず死なず安穩なる法理を顕わすことができるのです。各自よくそれを見きわめるべきです。現世安穩の法華経の文は疑いのないものです。

讀誦解義 如說修行

おつとどこかで聞いた事ありますね。そう「如說修行抄」の一説です。この御文章は誰に出されたと思いますか。最後に「人々御中へ」と記載されています。つまり私達日蓮門下生全員に宛てられたお言葉なのです。追記として冒頭の漢文が書かれて締めくくられています。

幻の神有耶馬駅

2020年11月28日(土)

私や師匠の名前が、『鉄道ピクトリアル』という冊子の1月号に掲載され送られて来ました。定価1250円もする綺麗な紙質のしっかりした雑誌で、美しい鉄道の写真が載っています。鉄ちゃんファンなら、誰もが飛びつきそうなマニアックな内容が一杯という感じです。感じ？ そう、私は鉄道には全く興味がありません。なのに何故登場したのかというと・・・寺報に載せていたウチの師匠の記事がキッカケです。寺報はホームページにアップしているので、検索エンジンに引っかかったのだと思います。タイトルの「しんゆうやば駅」というのが昔、神鉄電車の鴨越と鈴蘭台の間にあり、その事を師匠が書いていたのです。林間学校の為に作られた駅のようで、ある方から突然メールを頂き、「記事と写真を転用したい」との申し入れでした。そんな事がキッカケで雑誌にまで載るなんて、何がどう繋がるか判りません。これも仏さまの縁ですね～



